

集ニケリ、其ノ所ヨリ大臣屋へ渡ル有様不可云盡ス、大臣屋ノ前ニ埒ヨリ東ニ南北向様ニ錦ノ平屋ヲ卯酉ニ長ク立テ、同錦ノ幔ヲ引廻シテ、其ノ内ニ種合セノ物共ヲバ、悉ク取置タリ、出納小舎人ナド平張ノ内ニテ皆此レヲ捧ツ、殿上人ハ大臣屋ノ中ノ間ヲ分テ、左ハ南、右ハ北ニ別レテ皆著並ヌ、藏人所ノ衆灌口モ皆列レテ皆著並ヌ、藏人所ノ左右ニ居ヌ、埒ヨリ西ニハ其レモ南北ニ向様ニ勝負ノ舞ノ料ニ錦ノ平張ヲ立テ、其ノ内ニ樂器ヲ儲ケ、舞人樂人等各居タリ、其喬々ニハ京中ノ上中下見物ニ市ヲ成タリ、女車立不敢ス所无シ、中略而ル間既ニ其ノ時ニ成ヌレバ、大臣屋ノ前ニシテ次第ニ座ヲ敷テ、口聞キ物有テ物可咲ク云フ者ヲ各儲テ、其座ニ向様ニ居テ、員ヲ可差物ノ風流財ヲ盡シテ金銀ヲ以テ莊レリ、亦員差座ニ居ヌレバ、既ニ合スルニ互ニ勝負アル間、言ヲ盡シ論ズルコト共多カリ、

○按ズルニ、種ハクサノ借字、種合ハ即チクサアハセナリ、教訓抄ニ今昔物語ノ文ヲ引キテ、草合ニ作レリ、以テ證トスベシ、

〔古今著聞集十一畫圖〕永承五年四月廿六日、麗景殿女御に繪合ありけり、彌生の十日あまりの比より其沙汰有けるは、中略むかしよりきこゆる花合は、散てふるき根にかへりぬればにはひ戀し、草合は尋て本の所へ返しやれば名残うるさし、

〔百練抄五鳥羽〕永久五年五月廿九日、内裏有鬪雞鬪草、

〔長秋記〕保延元年三月二日乙亥、女院有種合事、左方摸五節所體云々、

〔台記〕久安六年四月十五日辛酉、午刻參内、近衛御后廬有鬪草、八月六日己酉、午刻參朝餉、即渡御皇后宮御方、忽有鬪草之興、了還御、

〔文華秀麗集下雜詠〕觀鬪百草簡朋執一首

滋貞主

三陽仲月風光暖、美少繁華春意奢、曉鏡照顏粧黛畢、相將戲逐覓紅花、紅花綠樹煙霞處、弱體行疲園